



平成 26 年 8 月 8 日

各 位

会社名 山一電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 太田 佳孝
(コード番号 6941 東証第一部)
問合せ先 取締役兼上席執行役員経理部長 加藤 勝市
(電話 03-3734-0171)

山一電機グループ「中期経営計画」について

当社グループは、平成26年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画(平成27年3月期～平成29年3月期)を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

1. 目指すべき方向

中期3ヵ年経営計画における当社グループが目指す方向は、「お客様が満足する製品・サービスを提供できる会社」になるため、製品開発力、販売力、製造力、収益力および財務力を高め、さらなる飛躍を図るための基盤づくりの3ヵ年と位置づけております。

当社グループは、平成25年度より“構造改革”、“収益力強化”、“成長戦略”を3つの柱として「事業構造改革」に取り組み、PVソリューション事業やEMS事業からの撤退、固定費圧縮、不採算製品の改善ならびに整理等に取り組んでまいりました。

平成26年度以降も「事業構造改革」に取り組み、グループ会社全体での連携を強化し、業務の効率化を図り、さらなる固定費削減に取り組んでまいりますが、今期からはさらに加速するため、成長戦略を策定し、その実現に向けて取り組んでまいります。このため、テストソリューション事業、コネクタソリューション事業および光関連事業の3事業に経営資源を集中し、お客様が満足する製品・サービスを提供するため、グループ会社全体での連携を強化し、グローバルでの地域・市場・顧客・製品別の戦略を策定・実行し、持続的成長と収益力の向上を図ってまいります。

2. 中期経営計画の基本方針

(1) 業績目標

3ヵ年(平成27年3月期～平成29年3月期)累計の連結営業利益額は4,500百万円を目標として取り組んでまいります。

	平成26年3月期実績	平成29年3月期目標
連結売上高	21,779百万円	27,000百万円
連結営業利益	806百万円	2,000百万円

(2) 基本戦略

- ①グループ企業全社で「事業構造改革」を完遂する。
- ②利益重視による“成長戦略”を着実に実行する。

「伸びる地域・伸びる市場・元気な顧客・儲かる製品」と「魅力ある製品づくり」をキーワードに成長戦略を策定し、具現化に取り組み、収益力を強化してまいります。

- ・テストソリューション事業・・・お客様が満足いただける製品提供の拡大
- ・コネクタソリューション事業・・・差別化製品の拡販とグループ販売戦略の統合
- ・光関連事業・・・・・・・・・・・・新製品開発による差別化とグローバルでの拡販

③グループ会社連携強化による連結利益を最大化する。

グループ会社連携の強化を図り、グローバルに業務の効率化を行い、お客様が満足する製品・サービスを提供することにより、連結利益の最大化を図ってまいります。

- ・グループ経営の効率化の追求
- ・グローバルニッチマーケットを開拓し、グループ各社の収益力を上げる
- ・生産体制の効率運用と固定費削減を図り利益の確保

3. 投資計画

3カ年の投資計画額は、合計で7,000百万円とし、経営目標達成のための資金を投下します。
(平成26年3月期実績 2,271百万円)

4. 成長戦略（セグメント別）

(1) テストソリューション事業

- ①車載およびモバイル市場での新製品投入による売上拡大
- ②テストソケット事業での新市場の開拓
- ③グローバルオペレーション強化で顧客へのサービス向上

(2) コネクタソリューション事業

- ①通信・車載・産機市場のグローバル販売拡大
- ②高速伝送技術を活かした魅力ある製品の開発
- ③基板製品の販売拡大

(3) 光関連事業

- ①光通信市場（特に光トランシーバー）への参入
- ②医療機器市場での売上拡大
- ③光源・光モジュールの海外市場開拓
- ④産業機器（特にレーザープロジェクタ）市場参入

以 上

【本資料に関する注意事項】

当資料で記載されている業績予想ならびに将来予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。